

学校支援会報

■平成27年10月9日発行 第6号 ■編集 一関市学校支援室根地域本部事務局(一関市室根市民センター内 TEL:0191-64-2347)

戦争体験 子どもたちに伝える

室根西小学校 6年生が9月25日、総合的な学習で平和についての学習を行い、小野寺敦子さんに講師を依頼、小学校2年生で終戦を迎えるまでの当時の暮らしや子どもたちの様子などを話していただきました。

小野寺さんは、新館山から戦闘機が急降下して襲撃していき、衝撃で家が揺れたりガラス窓が割れたりする様子を校舎の陰で隠れて見ている、とても怖かったこと。「赤紙」が近所の人に届き、戦争に行くことは逃げられないこと。皆で旗を持ち、戦争に行く人を駅まで見送ったことなど、当時の写真を見せながら説明しました。



当時のお金を見つめる子どもたち

当時の学校や子どもたちの様子についても話しました。カバンがないので風呂敷を使い物下に下駄着るものは店にもなく、遠くまで買いに行くと並んでも無くなれば終わり。着替えもなく洗濯もできず、雨の日には下駄が濡れないように手に持ったそうです。



子どもたちに当時の暮らしを話す小野寺さん

米は供出されるため少なく、時々お弁当の検査があったこと、おかずは梅干しか味噌汁だけで味噌だけの人も。当時のお金を持ってきて子どもたちに見せ、なくさないよう財布を首にかけていたことを話すと、子どもたちからは「アニメで見たことがある!」とロラに話していました。

子どもたちは熱心に話を聞き、特にも学校のことには興味をもって質問していました。机の形や床の様子、廊下の境が障子だったことに驚いていました。「戦争で貧しいので当時の人たちはいろいろと工夫をして暮らしていたのがよくわかりました」、「今の暮らしでは考えられない」など感想も多く述べられました。

実際に体験した話を聞くことができ、子どもたちにとっても貴重な学習となりました。大変ありがとうございました。

室根大祭飾る 曲ろくの花

室根西小学校の5年生は、総合的な学習の時間で室根神社特別祭について学習する予定です。大祭を知ってもらえるよう、祭りで使われる「曲泉(きょくせん)の花」を加藤和子さんが作ってくださいました。

折り目をキッチリつけることや折り目の山がずれないように貼り合わせるなど作る時のコツを説明し

ながらミニチュア版が完成。学習に役立てたいと思います。ありがとうございました。



曲ろくの花を作る加藤さん

広い校庭 草集め

室根中学校で9月29日、前日に保護者などで行った草刈の草集め作業を行いました。

雨で濡れてしまうと片付けが大変になるため、学校としても早めに片付けたいことから加藤久美子さんにお手伝いを依頼。快く引き受けてくださいました。



広い校庭の草を集める大変な作業でした

天気心配でしたが、この日は天気も良く作業もはかどりました。草を刈った面積はとても広く大変な作業でしたが、加藤さんはシーキを使って丁寧に草を集め、何カ所かに草の山を作りました。用務員さんと協力しながら軽トラに草を積み込み何度も運んでいました。

待ち遠しい! 新収図書を準備



図書室で作業する小山さん

室根東小学校では10月5日、ボランティアの小山純子さんにお願ひし、読書普及員の中澤和子さんと一緒に新収図書の整理をしていただきました。今回新しく図書室の仲間入りをした本は、絵本や



子どもたちも楽しみています

読み物、図鑑など約40冊。ジャンルごとに分類シールを貼り、帯がついているものは本のサイズに合わせて切って表紙の内側に貼り付けていただきました。作業を終えた本は新刊コーナーの棚へ。貸し出しの準備が整い、借りにくる子どもたちを待っています。

手際よく作業していただき予定より早く終了できました。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

地域コーナーからご挨拶

室根西小学校、室根中学校を担当していた地域コーナーコーナーの佐藤喜代子さんが9月をもって離任することとなりました。

地域コーナーコーナーとして一年半の間、皆さんには大変お世話になりました。ボランティア依頼の

電話をする皆様さんとも快く引き受けてくださいました。コーナーコーナーの仕事を通して改めて地域の繋がりの大切さを感じ、一緒に作業しながら楽しく過ごすことができました。地域の皆さんのご協力と支えで事業を進めてこられたことにこの場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。(佐藤喜代子)